

■After 建築名称 下段: 英語名	市原湖畔美術館 ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM		
建築用途	大分類 展示施設	小分類 美術館	
改修設計者	カワグチテイ建築計画	URL	After 広場側外観: 新設のスチール折板のボックスが配されている
所在地	千葉県市原市不入75-1	Google Map	
改修年	2013年		撮影者提供者 撮影: 桐原武志 2023年
建築規模	RC造(既存部)+S造(増築部) 地上1階、地下1階 延床面積: 1865.49㎡		概要 after 既存建物のRC躯体を残し、そこにアートウォールと呼ぶアートウォールと呼ばれる溶融亜鉛メッキの仕上げのスチール折板を挿入
掲載書誌	世界のリノベーション		
関連事項			
■Before 建築名称	市原市水と彫刻の丘		概要 before 高滝湖(ダム湖)整備の一環として建設された美術館。来館者が低迷したため2010年に美術館再生のプロポーザルを実施
建築用途	大分類 展示施設	小分類 美術館	
■写真 Before リノベーション前の外観	After 在来のホール(屋内)がエントランス(左)に隣接する外部の中庭に		After アートウォールと呼ばれる溶融亜鉛メッキの仕上げのスチール折板
			
撮影提供者 提供: 市原湖畔美術館	撮影提供者 撮影: 桐原武志 2023年		撮影提供者 撮影: 桐原武志 2023年
■リノベーション内容	キーワード 挿入、対比	内容 <カワグチテイ建築計画 Websiteより引用>リノベーション設計:もとの建物は湖と緑に囲まれた豊かな環境をうまく活かしておらず、設備の老朽化、バブル崩壊と共に放置されたデッドスペースが点在するなど、多くの問題を抱えていました。これを市原市が取り組むアートを基軸に据えた地域活性化構想の一環として、発信性を持ち、かつ地域振興の拠点となる美術館として再生することが求められました。私達は既存建物の全ての仕上材を剥がしてスケルトンとし、回遊性の高いユニークな骨格だけを取り出しました。そこに「アートウォール」と名付けた亜鉛めっき鉄板の壁を挿入することで、展示室やホール、ラウンジなど様々な場所を作り出しました。もとの建物の隠れた魅力を発見し、古いものと新しいもの、周辺の豊かな環境、その中でアート作品や活動を一体的に楽しめる場所として再生することを目指しました。 ・建築学会作品選集の講評:公共建築のリノベーションとして今後の指標となる建築であろう。と賞賛	
■備考	0		
■作成者氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		協力 カワグチテイ建築計画 市原湖畔美術館